

## ■ 掲示板

### ■ 第13回（平成25年度）一般財団法人材料科学技術振興財団

#### 山崎貞一賞候補者募集

##### 1. 授賞対象分野

- (1)「材料」 (2)「半導体及び半導体装置」 (3)「計測評価」  
(4)「バイオサイエンス・バイオテクノロジー」

##### 2. 授賞対象者：

- (1) 授賞対象は、論文の発表、特許の取得、方法・技術の開発等を通じて、実用化につながる優れた創造的業績を上げている人（複数人可・総計3名以内）とします。  
(2) 候補者の国籍は問わず、日本国内において業績をあげた人を授賞対象とします。  
(3) 過去に応募されたことのある人でも再応募可能です。

3. 顕彰：各分野それぞれに賞状及び副賞（18金メダル・賞金300万円）を贈呈します。

4. 募集期間：平成25年2月1日から4月末日（必着）

5. その他：詳細につきましては、ホームページをご覧ください。  
※検索サイトで“山崎貞一賞”と検索下さい。トップページ（<http://www.mst.or.jp/prize/>）へのリンクがすぐに見つかります。

##### 6. 推薦書・応募書請求先、提出先：

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見1-18-6

一般財団法人 材料科学技術振興財団 山崎貞一賞事務局

TEL：03-3415-2200 E-mail：prize@mst.or.jp

FAX：03-3415-5987 URL：http://www.mst.or.jp/prize/

### ■ 平成25年度後期 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 放射光共同利用実験課題公募

募集対象：当施設の放射光および低速陽電子を利用する実験。

主に大学等の研究者を対象としますが、科学研究費補助金の申請資格を有する企業等の基礎研究も対象となります。

応募期限：平成25年5月上旬予定。決まり次第 <http://uskek.kek.jp/apply/pf.html>にてお知らせします。

応募要領：実験課題申請システム <https://pmsweb.kek.jp/k-pas/>を利用した電子申請となります。

申請受付は平成25年3月末開始を予定しております。

具体的な申請書作成等に関する詳細については <http://uskek.kek.jp/apply/pf.html>をご参照ください。

その他：研究成果は公表していただきます。

##### 問合せ先：

高エネルギー加速器研究機構

研究協力部研究協力課

共同利用支援室共同利用係

e-mail：kyodo1@mail.kek.jp

Tel：029-864-5126

## ■ 会告

### ■ 第17回日本放射光学会奨励賞選考結果報告

2012年9月14日開催の学術等選考委員会の選考結果として2名が推薦された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記の通り。

その結果を受け第96回評議員会にて第17回日本放射光学会奨励賞の授与が承認され、第26回総会にて賞状並びに副賞のメダルが授与された。

#### ・篠原佑也（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

「X線光子相関分光法を用いたゴム中のナノ粒子ダイナミックスの観察」

篠原佑也氏は、SPring-8の高輝度放射光源からの高コヒーレントX線を利用したX線光子相関分光法（XPCS）を我が国において本格的に立ち上げるとともに、XPCSに適した検出器の開発を行った。そして、こうして自ら開発したシステムを利用して、高分子を初めとするソフトマテリアル、中でも特に、ゴム中に埋入したナノ粒子のダイナミックスを詳細に観察し、ナノ粒子充填ゴムの動的特性解明に大きな一石を投じた。篠原氏は、XPCS法の開発に先んじて、既にゴムの力学変形時に生じるナノ粒子の空間配置変化について超小角X線散乱測定にも成功して

おり、XPCS法によるダイナミックスと結びつけることで、実用的ゴムの挙動をミクロな観点から解明した点、企業的に見ても極めて大きな貢献をしたことになる。このXPCS法は、ゴムにとどまらず様々なソフトマテリアルのダイナミックスを解き明かす上でも有用な手法として、我が国の高分子産業界で積極的に利用され始めている。篠原氏は、その先鞭をつけた点で産業界の評価も極めて高い。篠原氏は、様々の国際会議で基調講演を行うなど、その研究業績は非常に高い評価を受けており、今後、先端的小角X線散乱法の開発において一層の活躍をしてくれるものと期待できる。その功績は日本放射光学会奨励賞に十分値するものである。

#### ・和達大樹（東京大学大学院量子相エレクトロニクス研究センター）

「遷移金属酸化物薄膜の共鳴軟X線散乱による研究」

和達大樹氏は、カナダ放射光施設の共鳴軟X線散乱回折計の建設の構成員として主体的に携わり、世界でも第一線の性能を持つ装置を実現した。同氏は、この装置を用いてホールドープされたペロブスカイト型マンガナイトのエピキャピタル成長薄膜による共鳴散乱の散乱角、偏光依存性、入射エネルギー依存性を観察

して、軌道秩序による散乱と磁気秩序による散乱を分離することにより軌道秩序と磁気秩序の相転移機構を解明した。また、薄膜特有の転移を発見し、これがエピキャシタル歪による磁気異方性の変化に起因するスピンの配向転移であることを明らかにした。さらに和達氏は、この研究に先立って軟 X 線共鳴散乱と硬 X 線回折を併用してマルチフェロイック物質  $\text{YMnO}_3$  の薄膜の大きな分極発生の起源を明らかにした。

これらは、実用材料としてもその研究の発展が期待されるマンガン酸化物の磁性薄膜の物性を、自ら開発した実験装置を用い軟 X 線共鳴散乱を有効に活用し、かつ、硬 X 線回折も相補的に利用して明らかにした、放射光利用の新しい分野を切り開く優れた研究で、放射光学会奨励賞に値する。

## ■日本放射光学会第97回評議員会議事録

日 時：2013年1月13日(日) 11:30~13:00

場 所：名古屋大学 ES 総合館 (ES025講義室)

出席者：足立伸一、雨宮健太、雨宮慶幸、石川哲也、太田俊明、岡島敏浩、尾嶋正治、柿崎明人、籠島 靖、鎌田雅夫、河田 洋、北村英男、木下豊彦、木村 滋、木村真一、木村昭夫、小杉信博、坂田 誠、繁政英治、辛 埴、田中 均、谷口雅樹、野村昌治、初井宇記、水木純一郎(会長)、村上洋一、百生 敦、山本雅貴、横山利彦、渡邊信久、木村洋昭(庶務幹事)、唯美津木(会計幹事)、玉作賢治(編集幹事)、松田 巖(行事幹事)、松原英一郎(渉外幹事)

事務局：佐藤亜己奈 (WORDS)、西野三和子 (WORDS)

### 〈審議事項〉

#### 1. 学会 HP の改定について

松原渉外幹事より、学界と産業界が協働して構築する放射光技術共有の場として、学会ホームページに技術手帳欄を開設することが提案された。技術手帳欄の開設を承認し、内容や登録方法等を検討していくこととした。

#### 2. マスタープラン改定について

2013年2月~3月に学術会議のマスタープラン改定があり、今回の改定では、第三世代中型リングと、その10年程度先の Ultimate 放射光リング(回折限界硬 X 線源)計画を次期計画案とすることが提案された。改定案の作成は会長に一任し、評議員による確認を行った上で最終版とすることとした。

#### 3. 若手の会について

日本学術会議若手アカデミー委員会から、学会内に若手研究者の会が発足している場合に、その代表者を紹介してほしい旨の依頼があった。この機会に若手の会を結成するかどうか検討をしたが、若手の会は結成せず、若手研究会の開催等、若手への配慮を充実させていくこととした。尚、今後日本学術会議からの依頼への対応として、過去4回の若手研究会代表者に確認を取り、本人の承諾を得られた場合に、若手代表として紹介をすることとした。

#### 4. 日本放射光学会功労賞制定について

水木会長より、長年にわたり人目に付きにくい業務に従事し、放射光科学の発展のために尽くした影の功労者を表彰する制度を制定したいとの提案があった。審議の結果、功労賞

を制定する方向で選考方法と内容を検討していくこととした。

#### 5. 学会誌の記事の公開に関して

玉作編集幹事より、現在オンライン会誌は会員のみ閲覧可能となっているが、掲載から1年を過ぎた時点で一般に公開、または最新記事を含めて全て一般に公開することを、編集委員会で検討しているとの報告があった。現状として、掲載から1年を過ぎた記事については、著者の所属する機関の機関リポジトリへの登録が可能となっていることもあり、少なくとも1年を過ぎた記事については公開を認め、今後技術的な問題も含めて、記事の公開に関して検討をしていくこととした。

#### 6. 東日本放射光施設計画に関する意見収集の方法について

東日本放射光施設計画の有志代表より、東日本放射光施設計画のビームライン案について、会員に意見収集を行ってほしいとの依頼があった。会員からどのような意見があったのか会長が把握することを条件に、メーリングリストを利用して会員から意見収集することを承認した。

#### 7. 第26回総会議事案

木村庶務幹事より、第26回総会の議事案について説明があり、これを承認した。

#### 8. 会員異動

木村庶務幹事より、第96回評議員会以降の入退会申請者に関して、入会：正会員5名(うち学生会員2名)の報告があり、これを承認した。退会に関して、退会：正会員13名(うち学生会員0名)、賛助会員1社を確認した。2013年1月13日現在の総会員数は1,319名(うち学生会員120名)、名誉会員5名、シニア会員5名、賛助会員41社(43口)、特別賛助会員5団体(6口)

#### 9. 協賛・後援について

本学会に対する協賛・後援・共催依頼について報告があり、協賛6件、後援1件、共催1件を承認した。

### 〈報告事項〉

#### 1. JSR13, JSR14準備状況

松田行事幹事より第26回年会・合同シンポ(JSR1)の準備状況について報告があった。また、第27回年会・合同シンポ(JSR14)について、2014年1月11日(土)~13日(月)に広島国際会議場で開催予定であることが報告された。

#### 2. 学会誌編集状況

玉作編集幹事より学会誌の編集状況について報告があった。

#### 3. 会費2年未納者

会費2年未納者のリストを確認した。

### 評議員会日程(予定)の確認

第98回評議員会 2013年4月13日(土)

場所：理研東京事務所

第99回評議員会 2013年7月20日(土)

場所：理研東京事務所

## ■第26回(2013年)日本放射光学会総会議事録

日 時：2013年1月13日(日) 15:30~16:30

場 所：名古屋大学 坂田・平田ホール

出席者：出席者：145名 委任状：73名 計：218名

定款第28条により、正会員の1/10(132名)以上の参加で総会は

成立。

(議事)

1. 議長選出

議長に野村昌治会員を選出した。

2. 2013年度会長挨拶

水木会長より挨拶があり、2013年度の活動方針について所信表明があった。

3. 2012年度事業報告

木村庶務幹事より2012年度の学会活動について報告があった。

4. 2013年度事業計画・2013年度学会組織

木村庶務幹事より2013年度の事業計画および2013年度の学会組織(会長、幹事、評議員、各委員会)について報告があった。

5. 2013年度行事活動方針

松田行事幹事より、年会・合同シンポ、放射光基礎講習会、若手研究会、AOFSSR2013日本での開催等、2013年度の行事活動方針について報告があった。

6. 2013年度渉外活動方針

松原渉外幹事より、2014年の世界結晶年への協力、国内他学会との連携、ホームページ改訂作業に向けた渉外委員会の再立ち上げ、ホームページ内に技術手帳欄の開設等、2013年度の渉外活動方針について報告があった。

7. 2013年度編集活動方針

玉作編集幹事より、試料環境シリーズの開始(2013年秋以降開始予定)、学会誌の電子化に向けた準備、「放射光ビームライン光学技術入門」増補版の出版等、2013年度の編集活動方針について報告があった。

8. 2012年度決算報告

唯会計幹事より2012年度の決算報告があり、これを承認した。

9. 2013年度予算案

唯会計幹事より2013年度予算案が示され、これを承認した。

10. 第17回学会奨励賞

下記の2名を第17回学会奨励賞の受賞者として決定した旨の報告があった。

篠原佑也会員(東京大学大学院新領域創成科学研究科)

「X線光子相関分光法を用いたゴム中のナノ粒ダイナミックスの観察」

和達大樹会員(東京大学大学院量子相エレクトロニクス研究センター)

「遷移金属酸化物薄膜の共鳴軟X線散乱による研究」

11. 特別賛助会員に関する定款の改定について

第25回総会において、特別賛助会員制定に関する定款変更のうち、特別賛助会員の要件に関する第2章6条を除いて承認された。第2章6条に関しては、評議員会の承認を持って、定款の改定を行うこととなっていたが、第94回評議員会において下記の条文が承認され、定款を改定したことが報告された。

(改定前)	
定款 第2章、第6条	正会員は放射光学の分野に関して学識を有し、評議員会によってその入会が適当と認められた者とする。 賛助会員は本会の目的に賛同し、その事業を援助する者または団体とする。 購読会員は、本会の刊行する出版物の購読を希望する者または団体とする。 シニア会員は、長年放射光学会正会員として放射光科学に貢献してきた定年退職者で、引き続き放射光の発展に貢献する意思があり、評議員会によって推薦され、総会によって決定された者とする。 名誉会員は、放射光学の分野において顕著な功績を有する者で、評議員会によって推薦され、総会によって決定された者とする。
(改定後)	
定款 第2章、第6条	正会員は放射光学の分野に関して学識を有し、評議員会によってその入会が適当と認められた者とする。 <u>特別賛助会員は、日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウムを共催し、かつ本会の目的に賛同してその事業を援助する団体とする。</u> 賛助会員は、本会の目的に賛同し、その事業を援助する者または団体とする。 購読会員は、本会の刊行する出版物の購読を希望する者または団体とする。 シニア会員は、長年放射光学会正会員として放射光科学に貢献してきた定年退職者で、引き続き放射光の発展に貢献する意思があり、評議員会によって推薦され、総会によって決定された者とする。 名誉会員は、放射光学の分野において顕著な功績を有する者で、評議員会によって推薦され、総会によって決定された者とする。

12. シニア会員に関する定款および細則の改定について

第25回総会において、昨今の情勢に適合しないため継続審議となっていた、シニア会員の要件に関する第2章6条について、今後、条件の年齢や在籍年数に関しては、時代とともに変える必要があると想定され、その場合、評議員会の承認だけで条件を変えられる方が、迅速に対応できると考え、定款には「シニア会員は細則に定める条件を満たす者とする。」と記述し、細則に「65歳以上であること」、「20年以上継続して会員であること」、といった条件を記述することが提案された。審議の結果、定款および細則の改定について下記の通り承認した。

尚、細則の文章について、総会で報告された文言と多少異なる部分があるが、細則は評議員会において制定され総会では報告事項であるため、第95回評議員会において承認された下記の文章を用いることとする。

(改定前)	
定款 第2章, 第6条	正会員は放射光学の分野に関して学識を有し, 評議員会によってその入会が適当と認められた 者とする。 賛助会員は本会の目的に賛同し, その事業を援 助する者または団体とする。 購読会員は, 本会の刊行する出版物の購読を希 望する者または団体とする。 シニア会員は, 長年放射光学会正会員として放 射光科学に貢献してきた定年退職者で, 引き続 き放射光の発展に貢献する意思があり, 評議員 会によって推薦され, 総会によって決定された 者とする。 名誉会員は, 放射光学の分野において顕著な功 績を有する者で, 評議員会によって推薦され, 総会によって決定された者とする。

(改定後)	
定款 第2章, 第6条	正会員は放射光学の分野に関して学識を有し, 評議員会によってその入会が適当と認められた 者とする。 特別賛助会員は, 日本放射光学会年会・放射光 科学合同シンポジウムを共催し, かつ本会の目 的に賛同してその事業を援助する団体とする。 賛助会員は, 本会の目的に賛同し, その事業を 援助する者または団体とする。 購読会員は, 本会の刊行する出版物の購読を希 望する者または団体とする。 シニア会員は, 細則に定める条件を満たす者と する。 名誉会員は, 放射光学の分野において顕著な功 績を有する者で, 評議員会によって推薦され, 総会によって決定された者とする。

(改定前)	
細則 第1章	正会員, 特別賛助会員, 賛助会員および購読会 員
(改定後)	
細則 第1章	正会員, 特別賛助会員, 賛助会員, シニア会員 および購読会員

(改定前)	
細則 第1章 第3条, 4条	第3条 本会に, 購読会員として入会を希望 する者または団体は, 所定の申込書に必要事項 を記入して事務所に提出すること。 第4条 会員の情報は会員名簿に記載し会員 はこれを閲覧できる。記載内容および記載方法 については評議委員会の承認に基づく。

(改定後)	
細則 第1章 第3条, 4条, 5 条	第3条 <u>シニア会員は65歳以上で, 継続して 20年以上会員として尽力した者とし, シニア 会員籍を希望する者は事務局に申し出ること。</u> 第4条 本会に, 購読会員として入会を希望 する者または団体は, 所定の申込書に必要事項 を記入して事務所に提出すること。 第5条 会員の情報は会員名簿に記載し会員 はこれを閲覧できる。記載内容および記載方法 については評議委員会の承認に基づく。

### ■会員異動

第97回評議員会 (2013年1月13日) で承認

#### 《正会員入会》

犬伏 雄一 理化学研究所  
寺崎 一郎 名古屋大学理学研究科物理学教室  
田中 俊成 日本大学量子科学研究所電子線利用研究施設  
以上3名

#### 《学生会員入会》

岡本 整 広島大学大学院理学研究科物理科学専攻分子光科  
学研究室  
松岡 寛 金沢大学自然科学研究科量子物性研究室  
以上2名

#### 《退会会員》

正会員13名, 賛助会員1社

#### 《会員数》

会員1319名 (内学生120名) 名誉会員5名 シニア会員5名  
賛助会員41社 (43口) 特別賛助会員5団体 (6口)

## 日本放射光学会2012年度決算書

自 2011年10月 1 日 至 2012年 9 月30日

## 1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金	額
会費収入	正会員会費収入	9,442,000	12,396,000
	学生会員会費収入	174,000	
	賛助会員会費収入	2,300,000	
	購読会員会費収入	480,000	
	特別賛助会員会費収入	0	
会誌収入	会誌広告収入	3,564,036	4,803,502
	会誌販売収入	166,476	
	別刷収入	1,072,990	
年会・合同シンポ収入			12,636,890
行事開催収入	基礎講習会	166,000	166,000
単行本出版収入	販売収入 (ビームライン光学技術)	14,000	674,816
	販売収入 (検出器ガイド)	365,000	
	販売収入 (ブルーボックス)	295,816	
印税収入	印税収入 (検出器ガイド)	46,200	1,281,000
	印税収入 (ブルーボックス)	1,234,800	
雑収入	受取利息	1,736	1,736
収入の部合計			31,959,944

## 2. 支出の部

科 目	細 目	金	額
学会誌出版費	会誌印刷費 別刷印刷費 原稿料 会誌発送費 発送手数料 (ワーズ) 電子書籍試作費用	7,207,484 398,097 78,000 649,160 529,604 0	8,862,345
単行本出版費	仕入れ (ブルーボックス) 仕入れ (検出器ガイド) 発送手数料 (ブルーボックス) (ワーズ) 発送手数料 (検出器ガイド) (ワーズ)	796,858 337,260 390,260 74,000	1,598,378
学会奨励賞費	特注純銀メダル等		126,420
年会・合同シンポ支出	開催費 委員会旅費 事務管理費 (ワーズ)	7,315,620 1,538,880 1,463,292	10,317,792
行事開催費	基礎講習会開催費 若手研究会開催費	134,640 436,576	571,216
事業費	会議費 通信費 印刷費 事務局交通費 公開市民講座開催費 AOFSSR 協賛金	2,432,140 456,395 233,767 113,240 277,170 0	3,512,712
管理費	事務用品費 消耗品費 給料手当 (選挙開票アルバイト) 運賃 (宅急便+メール便) 支払手数料 租税公課	13,673 241,120 29,000 307,144 190,295 0	781,232
ワーズ事務委託費	ホームページ維持費 Web 会員名簿維持費 会員業務費 庶務業務費 行事開催業務費 広告業務費	252,000 182,700 746,710 1,549,826 50,000 1,069,206	3,850,442
会計業務費	税理士顧問料		460,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会		5,000
支出の部合計			30,085,537

## 3. 収支計算の部

科 目	細 目	金	額
当期収支差額			1,874,407
前期繰越金			4,392,672
次期繰越金			6,267,079

## 2012年度資産負債明細

2012年9月30日現在

## 1. 流動資産の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額
1. 現金及び預金	手持現金残高	290,132
	郵便振替残高	2,342,724
	UFJ 銀行普通預金残高	5,123,546
	三井住友銀行普通預金残高	6,542,207
2. 会費未収金	会誌販売未収残高	58,400
3. 立替金	第26回年会・合同シンポ(旅費など)	674,070
流動資産の部合計		15,031,079

## 2. 負債の部

科 目	細 目	金 額
1. 会費前受金	正会員会費	6,620,000
	学生会員会費	94,000
	賛助会員会費	1,750,000
	特別賛助会員会費	300,000
負債の部合計		8,764,000

## 3. 剰余金の部

科 目	細 目	金 額
1. 前期繰越金		4,392,672
2. 当期収支差額		1,874,407
剰余金の部合計		6,267,079

日本放射光学会2013年度予算書  
自 2012年10月1日 至 2013年9月30日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金	額
会費収入	正会員会費収入	9,000,000	12,070,000
	学生会員会費収入	170,000	
	賛助会員会費収入	2,300,000	
	購読会員会費収入	300,000	
	特別賛助会員会費収入	300,000	
会誌収入	会誌広告収入	3,500,000	4,660,000
	会誌販売収入	160,000	
	別刷収入	1,000,000	
年会・合同シンポ収入			10,830,000
行事開催収入	基礎講習会	200,000	200,000
単行本出版収入	販売収入 (ビームライン光学技術)	946,000	1,126,000
	広告収入 (ビームライン光学技術)	180,000	
雑収入	受取利息	1,500	1,500
収入の部合計			28,887,500

## 2. 支出の部

科 目	細 目	金	額
学会誌出版費	会誌印刷費	6,000,000	7,680,000
	別刷印刷費	400,000	
	原稿料	100,000	
	会誌発送費	650,000	
	発送手数料 (ワーズ)	530,000	
単行本出版費	印刷費 (ビームライン光学技術)	525,000	762,500
	発送手数料 (ビームライン光学技術) (ワーズ)	237,500	
学会奨励賞費	特注純銀メダル等		126,420
年会・合同シンポ支出	開催費	6,750,000	9,350,000
	委員会旅費	1,100,000	
	事務管理費 (ワーズ)	1,500,000	
行事開催費	基礎講習会開催費	300,000	800,000
	若手研究会開催費	500,000	
事業費	会議費	2,300,000	4,470,000
	通信費	500,000	
	印刷費	250,000	
	事務局交通費	120,000	
	公開市民講座開催費	300,000	
	AOFSRR 協賛金	1,000,000	
管理費	事務用品費	30,000	810,000
	消耗品費	250,000	
	給料手当 (選挙開票アルバイト)	30,000	
	運賃 (宅急便+メール便)	300,000	
	支払手数料	200,000	
ワーズ事務委託費	ホームページ維持費	252,000	3,834,700
	Web 会員名簿維持費	182,700	
	会員業務費	750,000	
	庶務業務費	1,500,000	
	行事開催業務費	50,000	
	広告業務費	1,100,000	
会計業務費	税理士顧問料		460,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会		5,000
支出の部合計			28,298,620

## 3. 収支計算の部

科 目	細 目	金	額
当期収支差額			588,880
前期繰越金			6,267,079
次期繰越金			6,855,959

## 日本放射光学会2013年度組織

### ■会長（任期：2011.10.01-2013.09.30）

水木純一郎（関学）

### ■幹事（任期：2011.10.01-2013.09.30）

庶務幹事 木村 洋昭（JASRI）

行事幹事 松田 巖（東大）

編集幹事 玉作 賢治（理研）

渉外幹事 松原英一郎（京大）

会計幹事 唯 美津木（分子研）

### ■評議員

（任期：2011.10.01-2013.09.30）

足立 伸一（KEK）

雨宮 健太（KEK）

柿崎 明人（TIST）

籠島 靖（兵庫県立大）

河田 洋（KEK）

北村 英男（理研）

木下 豊彦（JASRI）

木村 滋（JASRI）

坂田 誠（JASRI）

谷口 雅樹（北大）

野村 昌治（KEK）

初井 宇記（理研）

百生 敦（東北大）

横山 利彦（分子研）

渡邊 信久（名大）

（任期：2012.10.01-2014.09.30）

雨宮 慶幸（東大）

石川 哲也（理研）

太田 俊明（立命館大）

岡島 敏浩（SAGA-LS）

尾嶋 正治（東大）

鎌田 雅夫（佐賀大）

木村 昭夫（北大）

木村 真一（分子研）

小杉 信博（分子研）

繁政 英治（分子研）

辛 埴（東大）

田中 均（理研）

水木純一郎（関学）

村上 洋一（KEK）

山本 雅貴（理研）

### ■行事委員（任期：2012.10.01-2013.09.30）

松田 巖（東大）委員長

足立 純一（KEK）

今村 真幸（佐賀大）

小嗣 真人（JASRI）

堀場 弘司（東大）

松波 雅治（分子研）

松村 大樹（JAEA）

宮本 幸治（北大）

矢治光一郎（東大）

### ■渉外委員（任期：2012.10.01-2013.09.30）

松原英一郎（京大）委員長

平木 雅彦（KEK）

木村 真一（分子研）

原田健太郎（KEK）

古川 行人（JASRI）

### ■編集委員

（任期：2011.10.01-2013.09.30）

玉作 賢治（理研）委員長

木村 昭夫（北大）

舟越 賢一（JASRI）

水牧仁一郎（JASRI）

阿部 仁（KEK）

上杉健太郎（JASRI）

河本 正秀（佐賀LS）

城地 保昌（JASRI）

野中 敬正（豊田中央研究所）

原田 慈久（東大）

引間 孝明（理研）

松下 智裕（JASRI）

山崎 裕一（KEK）

山田 悠介（KEK）

（任期：2012.10.01-2014.09.30）

大東 琢治（分子研）

下村 晋（京大）

為則 雄祐（JASRI）

藤田 貴弘（JASRI）

宮内 洋司（KEK）

山下 栄樹（阪大）

綿貫 徹（JAEA）

大橋 治彦（JASRI）

平野 馨一（KEK）

### ■2013年度の主な事業計画

・第6回 AOFSSR スクール（Cheiron School 2012）

2012年9月24日-10月3日（於：SPring-8）

・第7回 AOFSSR

2013年9月22日-23日（於：イーグレ姫路）

・第26回年会・放射光科学合同シンポジウム

2013年1月12日-14日（於：名古屋大学）

・第26回総会

2013年1月13日（於：名古屋大学坂田・平田ホール）

・第17回学会奨励賞授与

2013年1月13日（於：名古屋大学坂田・平田ホール）

・日本放射光学会市民公開講座

2013年1月12日（於：名古屋大学坂田・平田ホール）

・若手研究会

- 放射光基礎講習会  
2013年夏季開催予定
- 評議員会 (10月, 1月, 4月, 7月)
- 幹事会 (10月, 12月, 3月, 6月)
- 編集委員会 (年3回)
- 行事委員会 (年1回 (年会時))
- 第18回学会奨励賞受賞候補者選考会議
- 次期会長・評議員選挙
- 学会誌の定期発行 (年6回)  
Vol. 25, No. 6/2012年11月末発行  
Vol. 26, No. 1/2013年1月末発行  
Vol. 26, No. 2/2013年3月末発行  
Vol. 26, No. 3/2013年5月末発行  
Vol. 26, No. 4/2013年7月末発行  
Vol. 26, No. 5/2013年9月末発行
- 第27回年会・放射光科学合同シンポジウム (2014年1月/広島国際会議場) 準備

## ■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2013年 5/21-24	第49回真空技術基礎講習会	(地独)大阪府立産業技術総合研究所	(一社)日本真空学会関西支部・(社)大阪府技術協会・日本真空工業会関西支部 E-mail: yamanaka@dantai.tri-osaka.jp	26・2
5/24	日本磁気学会 第190回研究会/第47回化合物新磁性専門研究会共催 「生体物質の物理」	中央大学駿河台記念館 320号室	日本磁気学会	26・2
6/30-7/3	第13回 SPring-8 夏の学校 —最先端の放射光科学を学ぶ—	SPring-8 キャンパス	(公財)高輝度光科学研究センター, (独)理化学研究所 播磨研究所, (独)日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究部門, 兵庫県立大学大学院物質理学研究科・生命理学研究科, 兵庫県立大学高度産業科学技術研究所, 関西学院大学大学院理工学研究科, 東京大学放射光連携研究機構, 岡山大学, 北陸先端科学技術大学院大学 E-mail: 2013summerschool@spring8.or.jp	26・2
8/16-24	第7回大学生のための素粒子・原子核, 物質・生命スクール —サマーチャレンジ—宇宙, 物質, 生命 21世紀の謎に挑む—	KEK (つくばキャンパス)	KEK, 高エネルギー物理学研究者会議, 原子核談話会, PF-UA E-mail: ksc12@kek.jp	26・2
9/23-27	第49回 X線分析討論会および第15回全放射蛍光 X線分析法 (TXRF2013) 国際会議合同会議	大阪市立大学 (杉本キャンパス) 学術情報総合センター	日本分析化学会 X線分析研究懇談会 E-mail: tsuji@a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp	26・2

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

### ■第49回真空技術基礎講習会

実習を主にした・初級者のための真空技術基礎講習会

真空の基礎、真空ポンプ、計測、リークテスト等

主 催：(一社)日本真空学会関西支部・(社)大阪府技術協会・日本真空工業会関西支部

協 賛：日本放射光学会, 他

日 時：2013年5月21日(火)～5月24日(金)

会 場：(地独)大阪府立産業技術総合研究所  
(大阪府和泉市あゆみ野 2-7-1)

参加費：主催団体会員 52,000円

協賛団体会員 55,000円

一般 60,000円

定 員：60名

締切日：2013年5月13日(月)

申込・連絡先：

(地独)大阪府立産業技術総合研究所内

(社)大阪府技術協会 担当：山中富世

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野 2-7-1

TEL：0725-53-2329 FAX：0725-53-2332

E-mail : yamanaka@dantai.tri-osaka.jp

http://www.vacuum-jp.org/ (一社)日本真空学会

### ■日本磁気学会 第190回研究会/第47回化合物新磁性専門研究会共催「生体物質の物理」

21世紀はバイオの時代とはよく言われることですが、DNAに代表される生体物質については、その電子状態などの解明がなかなか進んでいません。従来の物性物理学的手法を用いることの困難さ故と考えられますが、近年はスペクトロスコピックな手法や理論手法などの進展により、多くの成果が見られてきました。

本研究会では生体物質にスポットライトを当て、DNAやタンパク質などの生体物質の電子状態の理解、生体物質を鋳型に用いるなどして目指す次元の電子輸送など、物理学的な取り組みがどこまで進んでいるかを議論したいと思います。第一線で活躍されている講師の方々から様々な研究成果を紹介していただきます。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

主 催：日本磁気学会

協 賛：日本放射光学会, 他

日 時：2013年5月24日(金) 13:00-17:20

場 所：中央大学駿河台記念館320号室  
 (東京都千代田区神田駿河台 3-11-5,  
 JR 御茶ノ水駅より徒歩 3 分  
 TEL : 03-3292-3111 (記念館事務室)  
 URL : [http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access\\_surugadai\\_j.html](http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_surugadai_j.html))

参加費：無料 (研究会資料予約購読者, 学生)  
 2,000円 (会員, 協賛会員)  
 4,000円 (非会員)

資料代：1,000円 (会員, 協賛会員, 非会員, 学生)

問合せ先：

日本磁気学会事務局 TEL : 03-5281-0106

URL : <http://www.magnetics.jp/seminar/topical/190.html>

オーガナイザー：

和達大樹 (東大), 上原政智 (横国大), 小林義彦 (東京医大)

### ■第13回 SPring-8 夏の学校

—最先端の放射光科学を学ぶ—

SPring-8 夏の学校は、次世代の放射光利用研究者の発掘と育成を目的として、大学院修士 (博士前期) 課程に在学中の学生および学部 4 年生を主な対象に、毎年夏に 4 日間の日程で開催され今年で13回目となります。

SPring-8 で活躍する最前線の研究者による講義と実習を組み合わせることで、放射光の原理と利用研究の基礎を学ぶと共に、放射光を使う実習によって最先端の実験を体験出来るようにカリキュラムが準備されています。また、SPring-8 のキャンパス内では究極の X 線源である自由電子レーザー (SACLA) が建設され、2012年 3 月に供用開始となりましたが、これについても学ぶことができます。

主 催：(公財)高輝度光科学研究センター, 物理化学研究所 播磨研究所, 日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究部門, 兵庫県立大学大学院物質理学研究科・生命理学研究科, 兵庫県立大学高度産業科学技術研究所, 関西学院大学大学院理工学研究科, 東京大学放射光連携研究機構, 岡山大学, 北陸先端科学技術大学院大学

後 援：(公財)ひょうご科学技術協会

日 時：2013年 6 月30日(日)~7 月 3 日(水) (予定)

場 所：SPring-8 キャンパス

参加費：無料 (但し宿泊費・交通費等は自己負担)

募集人数：60名程度

対 象：

- ・大学院修士 (博士前期) 課程の学生
- ・人数に余裕があれば学部 4 年生も受入れ可
- ・主催大学の推薦枠あり
- ・所属大学で放射線業務従事者として教育を受け登録されていること

(詳細はホームページをご覧ください)

申込期間：

4 月15日(月)10 : 00~5 月10日(金)17 : 00まで (予定)

申込方法：

On-line 登録での参加受付

<http://www.spring8.or.jp/ja/> ⇒ 「大学生・院生の方へ」 ⇒ 「夏の学校」 ⇒ 「第13回」

(Web サイトは 3 月下旬にオープン予定)

問合せ先：

SPring-8 夏の学校事務局

(公財)高輝度光科学研究センター (JASRI/SPring-8) 研究調整部

〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1

TEL : 0791-58-0987 FAX : 0791-58-0830

E-mail : [2013summerschool@spring8.or.jp](mailto:2013summerschool@spring8.or.jp)

### ■第 7 回大学生のための素粒子・原子核、物質・生命科学—サマーチャレンジ—宇宙、物質、生命 21 世紀の謎に挑む—

主催/共催：

KEK/高エネルギー物理学研究者会議/原子核談話会/PF-UA

日 時：2013年 8 月16日(金)~24日(土)

場 所：KEK (つくばキャンパス)

構 成：

—分野を概観する講義

—6 人程度の小グループに分かれた演習

—実験施設見学 (つくば, 東海キャンパス)

—発表会 (最終日, 演習の成果を発表します)

募集対象：主に大学 3 年生

受入れ人数：90名程度 (応募者多数の場合は選考によります。)

参加費：無料 (交通費, 宿泊費をサポートする予定です。)

宿泊先：KEK 内, 共同利用宿泊施設

募 集：

4 月下旬に Web site で公募, 5 月末に締切, 6 月上旬に決定通知予定。

問合せ先：

〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1

高エネルギー加速器研究機構

サマーチャレンジ事務局

E-mail : [ksc12@kek.jp](mailto:ksc12@kek.jp)

TEL : 029-864-5349 FAX : 029-864-5203

### ■第49回 X 線分析討論会および第15回全反射蛍光 X 線分析法 (TXRF2013) 国際会議合同会議

第49回 X 線分析討論会は第15回全反射蛍光 X 線国際会議 (TXRF2013) との合同会議とする。EDXRF, WDXRF, SR-XRS, Micro-XRF, XAFS, XRR, XRD, EPMA, PIXE などの研究成果発表を含め、広く X 線分析研究分野の研究報告を行う場とする。2003年に淡路にて10th TXRF 国際会議を開催して以来、10年ぶりに日本で TXRF 国際会議を開催することになった。この間、TXRF 法は装置開発・改良が進み、半導体ウェハの表面分析から環境・バイオ試料の微量元素分析まで応用分野が広がった。そこで、合同会議では、大学・研究機関の研究者、分析機器製造企業の研究者、および、装置のユーザーが一堂に会し、TXRF 法の基礎から応用、将来展望を議論することを目的とす

る。なお、X線分析討論会参加者は TXRF 国際会議の全セッションに参加できる。

主催：日本分析化学会 X線分析研究懇談会

日時：2013年9月23日(月・祝)～9月27日(金)

場所：大阪市立大学(杉本キャンパス) 学術情報総合センター  
(大阪市住吉区杉本 3-3-138, JR 阪和線杉本町駅より徒歩 5 分)

発表形式：口頭(英語, 日本語), ポスター(英語)

発表申込締切：2013年5月10日

参加早期登録期限：2013年6月30日

予稿原稿提出締切：2013年7月31日

会議日程・参加費・その他詳細：

下記の会議ホームページをご参照ください。

・X線分析討論会のホームページ

<http://www.a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp/x49/>

・TXRF2013のホームページ

<http://www.a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp/txrf2013/>

講演申込方法：

上記の会議ホームページより講演申込用紙をダウンロードし、ご記入の上、下記の申込先まで電子メールに添付して申し込んでください。

申込先：txrf2013@imr.tohoku.ac.jp

問合せ先：

辻 幸一, 大阪市立大学大学院工学研究科化学系専攻  
〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138,

TEL/FAX : 06-6605-3080

E-mail : tsuji@a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp

### ● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 玉作賢治

渉外幹事 松原英一郎

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr262

Password : wK2t8yJc

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、松原(matsubara.eiichiro.6z@kyoto-u.ac.jp)までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、玉作(tamasaku@spring8.or.jp)までお願いします。